



【特集】

技 旅館の二間を開放感溢れる広い二間に ～銭湯付きのスポーツ合宿を提案～

●合宿に適した大部屋を

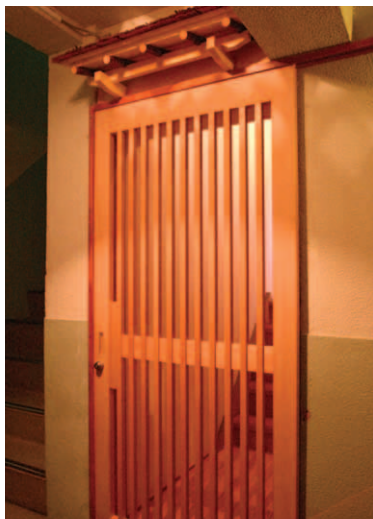
JR高岡駅から車で数分。正面に銭湯、奥に鉄骨の宿泊棟が建つ「なかや旅館」。先々代が銭湯を始めてから約五十年。店前の和田川に架けられた木造の渡り廊下や湯船のタイルにこれまで紡いできた歴史が感じられる。

今回のリフォームは、これまで旅館の物置などに使われてきた十畳と八畳(押入・板の間付き、築三十～四十年ほど)の和室二間を一間にして二十畳の広い空間にした。

「野球やサッカーなど、小学生のスポーツクラブから合宿に使いたいという要望を前々からいただいていた、大人数を収容できる一部屋の広い空間がほしかったんです。先日は地元高校のテニス部に、大会前の合宿に使っていただきました」



▲約50年の歴史をもつ「なかや旅館」。



▲情緒漂う杉板葺きの庇。

◀部屋の玄関にあたる場所は和のしつらえ。



▲和田川に架けられた木造の渡り廊下から続く銭湯。



▲入り口から廊下を伝って和室へ。上から新しい部材をあしらった廊下の床。

●和のしつらえにおもてなしの心

施工は、床の高さの調整やクロスのはり替え、壁抜きなど。施工前に部屋を調査したところ、入り口と奥の床の高さに十センチほどの段差があり、勾配もあつた。上がり下がりが大きかったため、一度床をはがし、根太を上げて調整し、水平にした。また、二間の境の壁を取り払ったことから、強度を高めるために梁

を補強し、化粧を施した。抜いていい柱と梁の見極めがポイントだったようだ。「この柱と梁をなくし、もう少し開放的な空間にしたかったが、構造上重要なもので残しました」と施工担当者。

壁のクロスをはり替え、畳も替えた和室はすっきりと美しく変身。十名以上がゆったりと過ごせる快適空間になった。和室へと続く廊下の入り口には、木のスリットに趣が感じられる引き戸。鍵



▲補強した梁に化粧を施した。



▲広々とした20畳の和室。

このあたりは湧き水が豊富なところで、銭湯では創業時から今も井戸水を使っている。昔は清水に川魚を放ち、活魚の料理を提供していたという。清らかな井戸水は枯れることなく、人々の心を潤し続けてきた。銭湯の温かい湯に満ち満ちた広い湯船に浸かり手足を伸ばせば、心身から癒されると利用者から好評。合宿に和室を使った子どもたちも順番待ちせずにお風呂に入ると、銭湯付きの旅館の良さを実感しているようだ。

今月のオーナー訪問



湯、悠、旨、適 なかや旅館
中谷さん

『適材適所の施工で安心』

施工会社とは、旅館の棟の新築の際もお願いしましたから、十年以上の付き合いになります。ここには贅沢すぎる部材、ここはもう少し費用をかけたほうが良いというように、適材適所のアドバイスをいただきました。目利きが素晴らしい、費用面などにも配慮くださるので、安心しておまかせしています。宿泊のお客様にご迷惑がかからないように、短期間で施工してくださいという点も感謝しています。お客様にはスポーツ合宿などに気軽にお使いいただければ幸いです。

住所／富山県高岡市永楽町2-1-0
電話／076-6227688
HP／http://www.nakaya-ryokan.jp/



技のリフォーム

イワサ ミセマス
0120-183-304